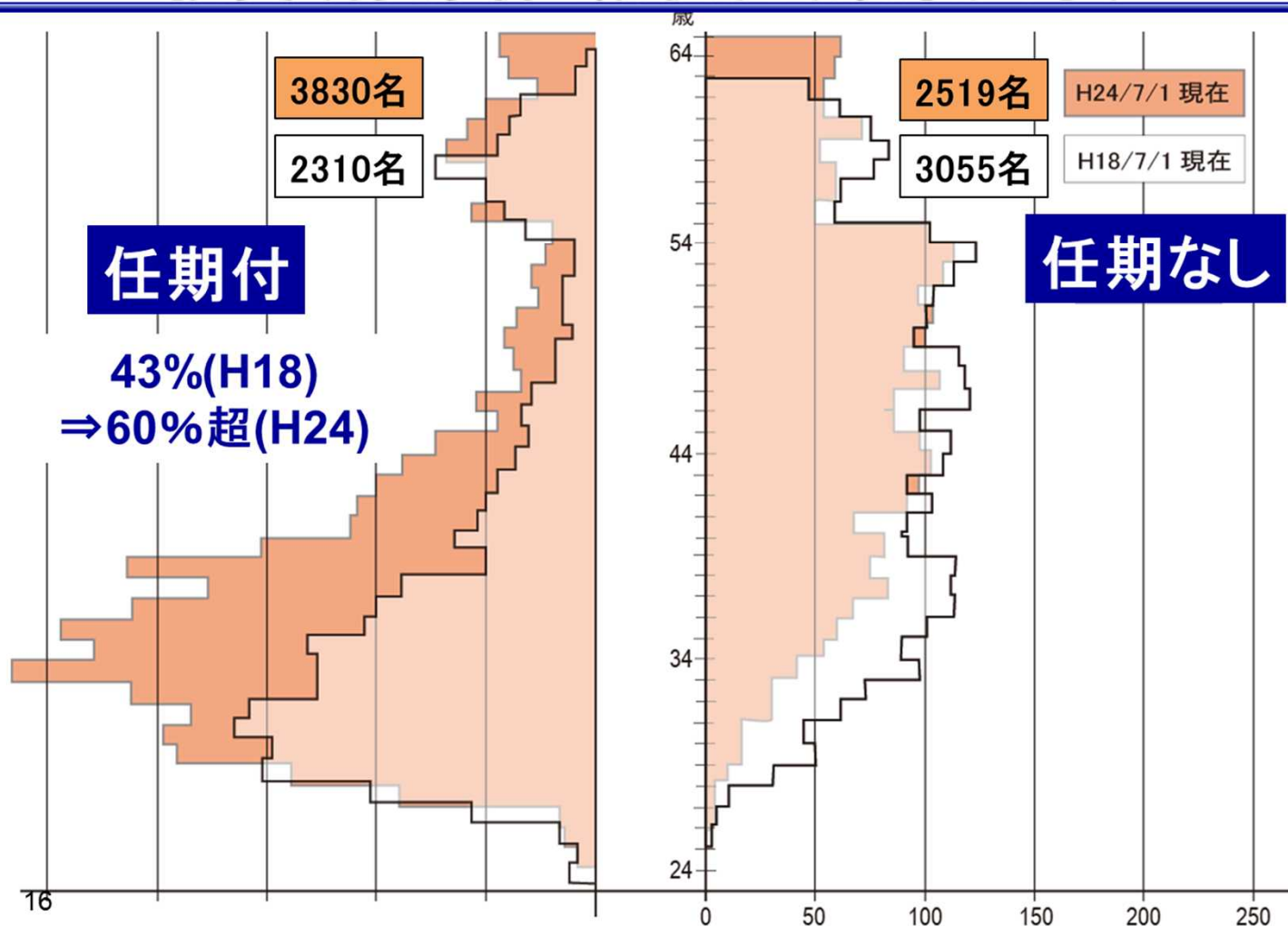


図3-2 / 教員及び研究員の在職状況（東京大学の例）

○平成18年時点と比較すると、平成24年は任期付き若手教員数が増加しているが、任期なしの若手教員数は減少している。

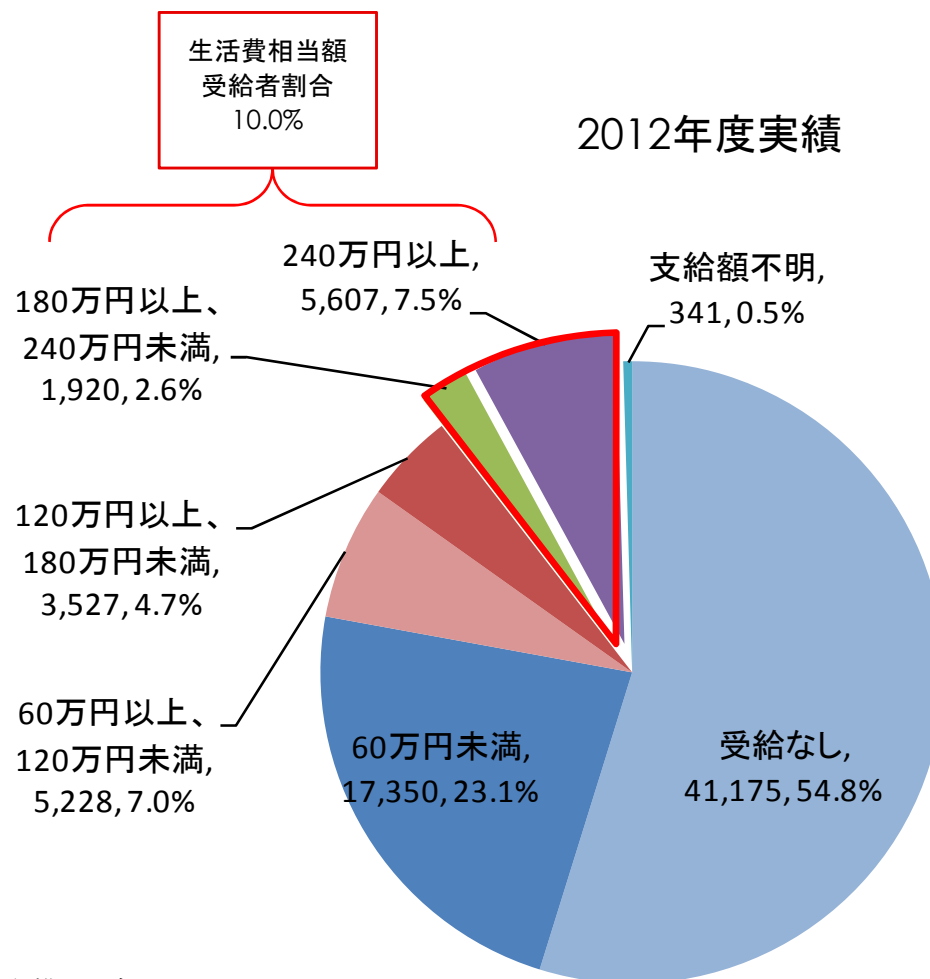
教員研究員在職状況（東京大学）



出典：東京大学五神教授作成資料

図3-3 / 博士課程学生の経済的支援の状況（受給額別）

○2012年度時点で、生活費相当額（年間180万円以上）の経済的支援の受給者は、博士課程（後期）学生全体の10.0%で、科学技術基本計画に掲げる目標値（2割）は未達成。



※ 受給額の中には、授業料減免措置を含む。

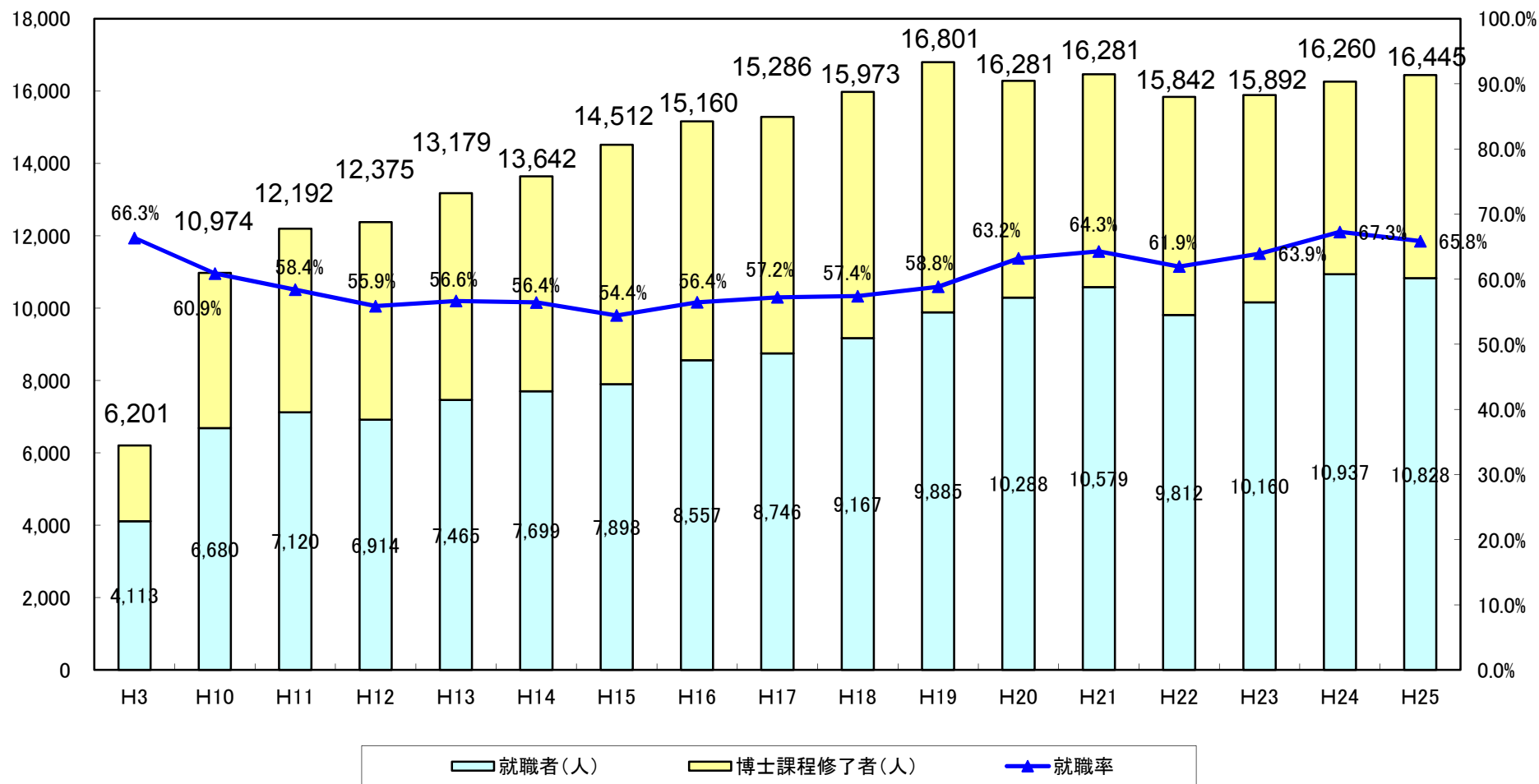
※ 調査で回答から漏れていた特別研究員(DC)の受給者を、年間受給額が240万円と仮定して盛り込んでいる。

出典：平成25年度文部科学省先導的・大学の改革推進委託事業

「博士課程学生の経済的支援状況と進路実態に係る調査研究」(平成26年5月 三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

図3-4 / 博士課程修了者数及び就職者数の推移（全体）

○博士課程修了者就職率は、漸増傾向にあり、平成25年度で約7割（平成25年度65.8%）。



※ 博士課程修了者には、所定の単位を修得し、学位を取得せずに満期退学した者を含む
 ※ 就職者とは、給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者をいう

出典：文部科学省「学校基本調査」